

戸二小メタバーズ美術館 「T2 MUSEUM II」に ついて

「T2 MUSEUM」の実現状況

第1期戸田市クラウドファンディングでは、セキュアロジック株式会社に多大なるご協力をいただき、945名の児童の作品を展示した戸田第二小メタバーズ美術館「T2 MUSEUM」第1弾の展示・公開ができた（8月19日）。

子供たちが自分で撮影し、題名などのキャプションをつけたデータを自分で作成できたことはとても有意義な学びとなった。

また、実際の戸田第二小を撮影してつくった仮想空間への展示を企業協力のもと実現することができた。

令和5年度内に第2弾、第3弾と展示・公開をしていけるようにしたい。



コンセプト

『共創』 『参加』

戸二小メタバーース美術館「T2 MUSEUM II」は、「共創」「参加」をコンセプトとして、子供が教員や産官学の外部人材と共創し、表現、展示、鑑賞して学ぶ、世界発の参加型子供メタバーース美術館を**継続・創造**していくものである。

子供たちがつくったものを、子供たち自身が展示していくART空間・戸二小メタバーース美術館「T2 MUSEUM II」を継続してつくることで、子供たち自身が自分で作品を展示し、それを友人、教員、保護者等が共有できるようにし、子供の学びを**発展・拡大**していくようにし、子供の**資質・能力の向上**を図っていく。

鑑賞をとおした学びの機会を**継続・発展**させていきたい。

R5現状と課題

第1期戸田市クラウドファンディングでは60万円の寄付をいただいた。予算内かつ学級内の子供全員が空間に入って鑑賞可能なものをつくるためには、できる限りデータを軽くし、動きをよくするという制限があった。（子供本人のアバターをつかって動かすとそれだけで重くなってしまうということであった。そのため、アバター子供学芸員の構想実現は難しくなった。）

戸二小メタバーズ美術館「T2 MUSEUM II」概要

○どのような当たり前を問い直すか

- ・作品の展示はこれまで教員が行ってきた。教室の展示、校内の展示、市内作品展の展示などは、教員の負担ともなっている。ここを子供たちが自分自身で学びながらメタバーズでの展示（作品を画像にする、デジタルデータでつくるなど→ T2 MUSEUM に自分で配置する→キャプションなども自分で設置）を行っていくことができるようにしていく。

○必要経費の概算金額・・・60万円以上

○提案に当たっての留意事項要件について

- ①教科等横断的な学び「STEAM」に該当する「脱・正解主義」である。
- ②メタバーズについては知見がないので、産官学の協力も得ながら、進めていき、社会に開かれた教育課程の実現をする「脱・自前主義」である。
- ③創造していく部分が多分にある「脱・予定調和」である。
- ④教師主導ではなく、空間に自分（たち）の作品を自分（たち）で展示する「脱・教師主導」である。
- ⑤教師の経験、勘、気合いは通用しない「脱・3K」である。